



# くがはら

翔

vol.137 ・ since 1990

発行：地域力推進久が原地区委員会  
編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会  
事務局：大田区久が原特別出張所  
〒146-0085 大田区久が原4-12-10  
TEL(3752)4271 FAX(3752)4514

久が原地区管内

<人口>	<世帯数>
男 14,181人	14,096世帯
女 15,043人	
計 29,224人	令和6年12月1日現在

## 新年のごあいさつ

久が原地区自治会連合会 会長 三木 伸良

新年明けましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、新たな年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年を振り返りますと、元日に発生しました能登半島地震を始めとした各地での豪雨被害など、日本列島が自然災害に見舞われた年となりました。幸いにも当久が原地区は、大きな被害も無く新たな年を迎えることが出来ました。しかし、地球温暖化により災害規模も

年々想像を超えたものとなっています。地域の安心・安全を守るために、久が原地区の五自治会はもとより、地域住民の皆様と共に力を合わせ住み良い安全な町を目指していきますので、皆様のご協力宜しくお願いします。また、子どもたちが健やかに成長できますように地域の方々と共に見守っていきます。  
本年も自治会活動にご理解ご協力をお願いいたします。



## 20歳 よせ



私の夢は、保育士になることです。幼稚園に通っていた頃からなりたいかった先生。二十歳になる今、私は保育の専門学校に通っています。たった二年間で資格を取得することは決して簡単ではありませんが、自分の叶えたい夢だから頑張ることができています。四月からは、保育士として日々の保育に励みたいと思います。

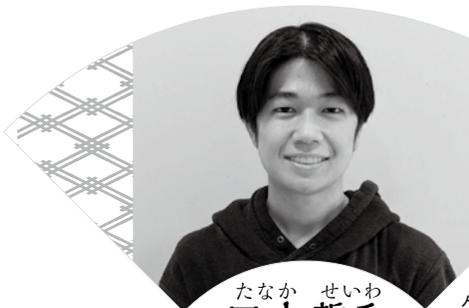


いちはら めい  
市原芽生



たかぎ みさき  
高木美咲

私は将来、途上国の経済発展に貢献したいです。  
小さい頃から海外に興味があり、昨年アフリカでボランティアをすることで、現地に残る貧困や格差等の問題に取り組みたいと思うようになりました。大学では経済学を学んでいて、将来は国際的な機関の職員として経済開発に携わりたいと思っています。



たなか せいわ  
田中誓和

二十歳になりました。私が小学生だった頃は、サッカー選手になることが夢でした。その時から私は、様々な経験をしました。特に高校生活はコロナでした。そこで私は、人とのコミュニケーションの大切さに改めて気付かされました。私は、コミュニケーションを大切に、新たな夢へ歩んでいきたいと思っています。

久が原って良い町ですよ。やっぱり日本っていい国だって海外に行くと気づけて、まずは自分たちの故郷である久が原をずっと変わらず残していけたらいいなと思います。  
小学校のころ毎日遊んでいた久が原公園（くがこう）も、今じゃカバディ（インドの競技）くらいしかできないんじゃないかというレベルで小さく感じます。  
二十歳か～。なんかはやすぎる。



あおき そうま  
青木爽真

私の夢は、プロのアスリートとして活躍することです。松仙小卒業式の壇上で宣言した時から変わっていません。今まで精一杯夢に向かって進んできました。大学生になり更にハイレベルな競争の中にも、久が原の地で共に学んだ仲間の励みや先生方の顔を思い出すと、絶対やり遂げるのだという思いが強くなります。  
私にとって久が原は、力の源です。



あさくら たいせい  
浅倉大聖



さいとう あかり  
齋藤朱莉

久が原で育ったおかげで最高の仲間たちに出会えました。  
特に久原小は元気で明るい子が多く、今でもとても仲が良いです。幼いころ入院したことがきっかけとなり、今は看護師を目指して勉強中です。  
これからも目標に向かって頑張ります。



たちい げんた  
立井元汰

幼い頃から夢がなかった私は、大学進学の際に唯一興味があつた服飾の道に進みました。志が同じ仲間と共に勉強するのは楽しい一方で、周りの才能に圧倒されることも多いです。しかし、この道に進んだからこそ自分の夢は具体的になり、今ではアパレル系の企業に就職することがひとつの夢になりました。

にし お かける  
西尾 翔 登 さん

平成13(2001)年生まれ

第22回 ショパン国際ピアノコンクールアジア大会  
2021年 19歳のときに金賞受賞  
2023年10月 東京芸術劇場でプロデビュー



この輝かしい経歴の持ち主、西尾翔登さんを紹介します。西尾さんは久が原幼稚園、久原小学校、大森第七中学校と、地元の学校の卒業生です。

おばあさまが音楽の先生だった影響で、4歳からピアノを習い始めました。中学生の頃は、帰宅後の午後4時から10時ころまで練習する毎日が嫌になることもあったそうです。普通科高校1年生のとき、ピアノを続ける決心をして、2年生から音楽科のある高校に転校しました。東京音楽大学に進むと、そこで先生に推薦されショパンコンクールに出場し、第一位及びソリスト賞、特別賞・I P Mカトヴィツェ賞を受賞しました。そして同コンクールの組織委員会の推薦を受けて、2022年夏にポーランドで開催されたカトヴィツェ国際ピアノマスタークラスに奨学生として参加し、現地でもリサイタルも開催しました。ポーランドはショパンの生まれ故郷でもあり、博物館やゆかりの地を訪れることによりショパンが曲を書いた背景を知ることができ、より深くショパンに触れることができたと感じたそうです。

これからウィーンの音楽大学で4年間学ぶことが決まっています。



2013年のコンサート

ウィーン出身のブラームスに惹かれていたので、そこで彼についてピアノだけでなく声楽やオーケストラなど幅広く研究したいとのこと。そして日本での演奏会でも、今まで支えてくださった方々へ舞台上から感謝を音で伝えていくことさらなる研鑽を積んでクラシック音楽をより広めていきたいという希望を持っていらっしやいます。

(本間 良子)

きれいな布で小さく色々な形に手作りされた人形の「つるし飾り」が右記の期間中、久が原図書館内に展示されます。とても可愛い「つるし飾り」は来館者の心をほっこり和ませてくれることと思います。

さて、雛の「つるし飾り」が始まったのは江戸時代の頃で、生まれてきた子供の幸せを願う気持ちを、お母さんや、お祖母さん、ご近所の人たちが少しずつ小さな人形を作り、持ち寄って「つるし飾り」にしたのが始まりと言われています。たくさんの種類の人形にはそれぞれに意味があり、羽子板は女の子が生まれた家に贈られる縁起物で、悪いものを跳ね飛ばすと言われ「厄払い、無事に成長して幸せを招く」との願いが込められています。

ひな祭り  
久が原図書館の「つるし飾り」  
2月12日～3月19日に展示!



また、三角の形は昔「葉袋」が三角で、病気に無縁であるようにと願いが込められ、不運が起こらないように祈るお祓いの意味もあるそうです。他にも動物や植物、遊び道具など、それぞれの意味を調べるのも面白いです。

展示されている「つるし飾り」は、久が原図書館のボランティアグループ「イトチカさん」の手作りです。2017年に裁縫が好きな地域の方を公募して始まり毎月第二水曜日に午前中に多目的室で製作しています。一緒につるし飾りを作ってみたい方は久が原図書館にお問い合わせください。若干の空きがあるようです。

(大竹 恵美子)



去年の展示

## イベント情報

- ◆久が原東自治会合同新年会  
【開催日】1月12日(日) 13時～  
【場 所】久が原東部八幡神社 社務所
- ◆新春フェスタ  
【開催日】1月13日(月・祝) 14時～  
【場 所】道々橋八幡神社 社務所
- ◆久が原西自治会新年会  
【開催日】1月18日(土) 13時～  
【場 所】久が原西部八幡神社 社務所
- ◆新春ふえすた  
【開催日】1月22日(水) 14時～  
【場 所】道々橋八幡神社 社務所
- ◆ヒルズ久が原自治会新年会  
【開催日】1月25日(土) 18時～  
【場 所】ヒルズ久が原 会議室2
- ◆ヒルズ久が原自治会震災訓練  
【開催日】2月16日(日) 9時～  
【場 所】ヒルズ久が原
- ◆ヒルズ久が原自治会クリーン大作戦  
【開催日】3月2日(日) 9時～  
【場 所】ヒルズ久が原
- ◆ヒルズ久が原お花見  
【開催日】3月30日(日) 10時～  
【場 所】多摩川

【問い合わせ先】久が原特別出張所  
03-3752-4271

## ✿ 能登ボランティアに参加して ✿

7月7日夜、5名で能登支援に向かいました。途中、埼玉の深谷で農家の方の支援でキュウリをたくさんいただき、能登の珠洲市に翌朝7時に到着。高速を降りてからは、道路の陥没、起伏が激しく車は大揺れでした。8日は朝から雨降りでしたので、作業は出来ずに仮設住宅を回りました。野菜をお配りしながら、困り事や要望など聞かせていただきました。その中で、90歳近いご婦人は、「仮設住宅に入らせてもらったことは有難いけど、ガス台がIHで、洗濯機は全自動で、今までの生活で使ったことがないものだから、使い方が分からなくて困っているのよ。若い人に聞いてもいろいろと面倒くさいでしょう」と涙を流されていたり。他にも90歳過ぎのご婦人は、息子さんが金沢の方に仕事に行っていて「昼間は1人なのよ。今も腰が痛くて」と玄関にうづくまっておられ、私が思わず腰をさすらせていただくと「わあ、あったかいわ～ 今までこんなに気持ちよかったことはないわ。ありがと」と喜んでくださいました。8、9日はあいにくの雨のため、作業は何もできませんでしたが、こうして

お一人おひとりの心に寄り添ってお話を聞かせていただくことも支援なのかなあと、温かい気持ちになりました。

また、どちらのお宅に伺っても、日本全国から支援の物資や大変な家々の片づけ、そして、こうして訪ねてくださる方のお陰で本当に有難いというお声もいろいろ聞かせていただきました。

その後、被災して工場がダメージを受けたという造り酒屋さんに立ち寄り、母や友人にお酒を購入して帰路に着きました。

当たり前の生活に感謝して、毎日を大切に過ごしていきたいと思えます。

(小西 美津子)



珠洲市の仮設住宅

## 【編集後記】

あけましておめでとうございます。昨秋の第35回ふれあい久が原大運動会は、1,266人の参加があり、優勝はヒルズ久が原自治会でした。新年号の才能あふれるピアニスト西尾さん、20歳によせての若人たちに声援を送ります。今年も編集委員一同元気に活動します。

大竹 恵美子